



はじめに

- この取扱説明書はいつでも取り出してご確認できるよう、大切に保管してください。
- 本製品をお客様ご本人から第三者へ譲渡する場合は、本書も一緒にお渡しください。
- お客様ご本人または第三者が、本製品及び付属品の誤った使用や、その使用中に生じた事故、その他の不具合によって受けられた損害について、弊社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改造自動車に適合するものではありません。改造自動車に装着する場合は法令で定められた改造申請などの届け出をして検査合格後にご使用ください。ただし、その自動車に損傷、損害がありましても、弊社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。
- 本製品及び、付属品に改造を加え、指定車両以外の自動車に取り付けて発生する不具合、自動車の損傷、損害につきまして弊社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告無く変更する場合があります。

◎シンボルマークの意味

本書では正しい取り扱いに関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しております。

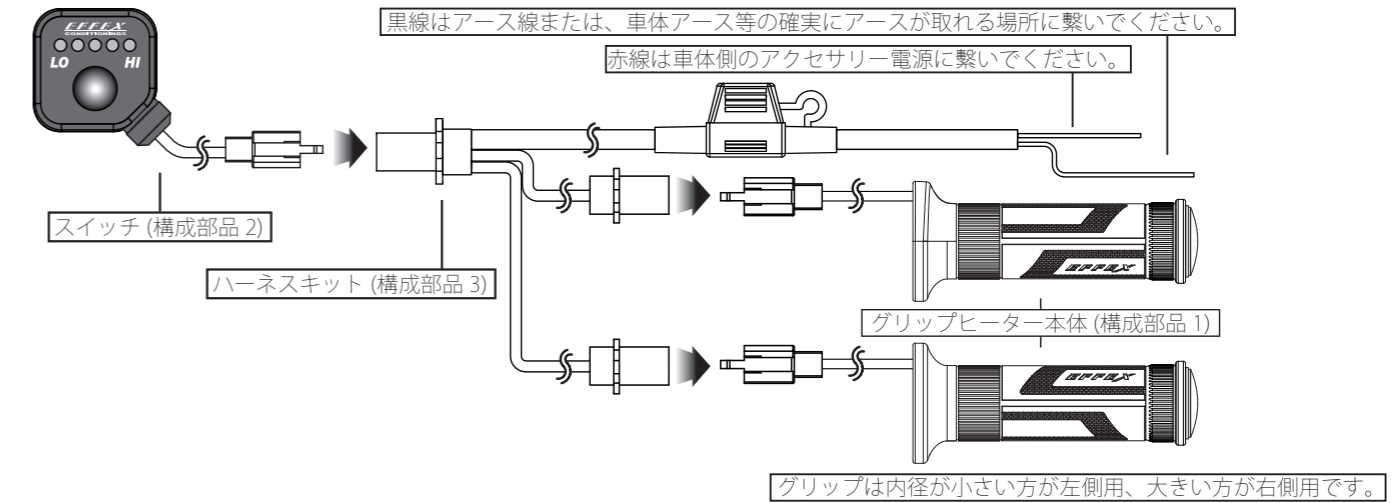
- 警告** この表示の意味を守らないと死亡、又は重傷に至る可能性が想定される場合を示しています。
- 注意** この表示の意味を守らないと傷害、又は物的損害の発生が想定される場合を示しています。
- 警告!** 本製品の取り付けには、重要な部品及び関連商品の脱着が伴います。必ず専門知識のある販売店もしくは整備工場で行ってください。
- 本製品を取り付ける際は、平坦で十分なスペースのある場所で、車両のエンジンを停止し必ず冷めてから車両を安定させて行ってください。取り付けにあたり、取り付け車両メーカー発行のサービスマニュアルを用意し、車両部品の脱着方法及び注意事項を良く理解して作業を行ってください。
- 注意!** 本製品に落下等の衝撃を与えないでください。商品の性能が発揮出来なくなる場合があります。
- 車両のエンジン、ラジエター等が熱い時は、完全に冷めてから作業を行ってください。熱いまま作業を行いますと火傷の原因となります。

1 構成部品

1 グリップヒーター本体 左右×1	2 スイッチ×1	3 ハーネスキット×1	4 U字ステー×1	5 マウント×1
6 M2×8ビス×2	7 M3×25×P0.5ボルト×1	8 M3ナット×1	9 パーエンドキャップ×2	10 接着剤×1
11 エクステンズスリーブ (115mm 左右共通)×2	12 エクステンズスリーブ (120mm 左用)×1	13 エクステンズスリーブ (120mm 右用)×1	14 エクステンズスリーブ (130mm 左用)×1	15 エクステンズスリーブ (130mm 右用)×1
16 収縮チューブ×1	17 絶縁キャップ (丸型端子用)×1	18 丸型端子×1	19 アルミシール×6	20 結束バンド×3
21 φ3.5オスギボシ×2	22 絶縁キャップ (オスギボシ用)×2	23 φ3.5メスギボシ×2	24 絶縁キャップ (メスギボシ用)×2	

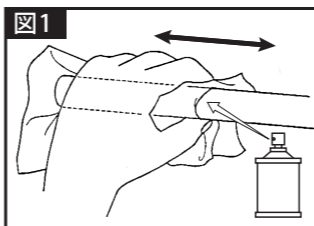
2 配線接続図

- グリップヒーター本体を車体へ取り付け前に配線接続をし、エンジン始動後にスイッチを操作して、グリップが温まる事を確認してください。また、アイドリング時であっても長時間の加熱はバッテリーを消費する場合があります。10分程度を目安に加熱してください。加熱がしなかったり、LEDが点灯しない場合は「11トラブルシューティング」をご確認ください。

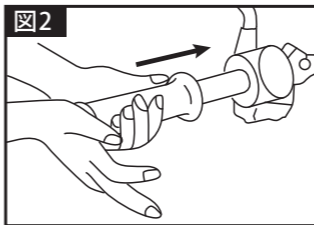


3 グリップヒーターの取り付け方法

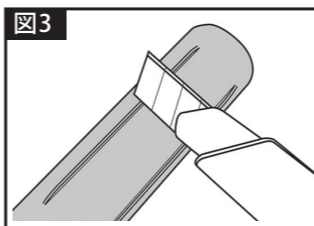
取付手順



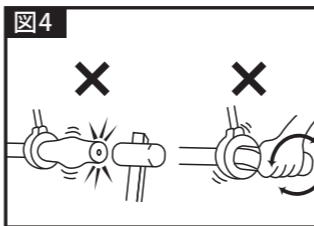
- 適切な工具を使用してハンドルバーを傷つけないように純正グリップを取り外します。
- ハンドルバーに接着剤が残っている場合はクリーナー等を使用して拭き取ってください。



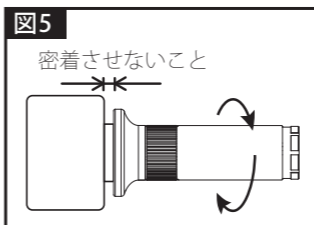
- グリップヒーター本体の内側に付属の接着剤を塗布し、ハンドルバーに真っすぐ押し込みます。
- 注意** この時、ハンドル側には塗布しないでください。また内径が小さい方をハンドル左側に、大きい方をハンドル右側のスロットルスリーブに取り付けてください。



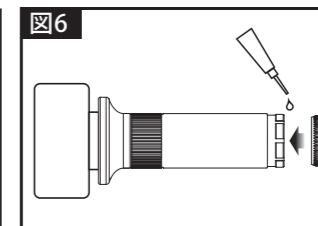
- スロットルスリーブ表面のリップが高く、装着が困難な場合は、リップを少しずつ削っていき、グリップ内径よりも低くならない高さまで調整してください。



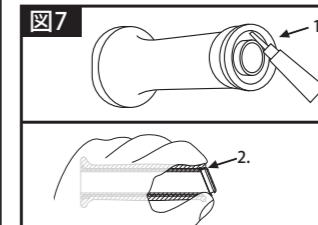
- 注意** 工具を使って無理に叩き込んだり、ねじり込むなどするとグリップヒーター内部の配線を損傷させる可能性がありますのでおやめください。



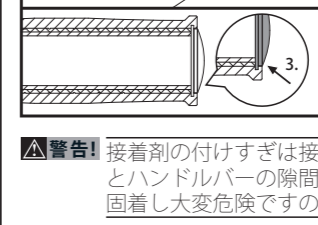
- 警告!** グリップヒーター本体をスロットルスリーブに取り付ける際はスロットル開閉時に配線が張りすぎない様に注意してください。また、グリップとスロットルホルダーとの隙間を確保して取り付けてください。取り付け後はスロットルの開閉に問題が無いかよく確認してください。



- 「4エクステンズスリーブの取り付けイメージ」と「5エクステンズスリーブの選択」を参考にして、適当な長さのエクステンズスリーブを取り付けてください。この時、エクステンズスリーブ内側のグリップと合わせる箇所に付属の接着剤を塗布してください。



- 付属のパーエンドキャップを使用する場合はエクステンズスリーブ内側の溝に付属の接着剤を塗布し、キャップを上側の溝に合わせてから、下側の溝に合わせて取り付けてください。その後しっかりと圧着してください。

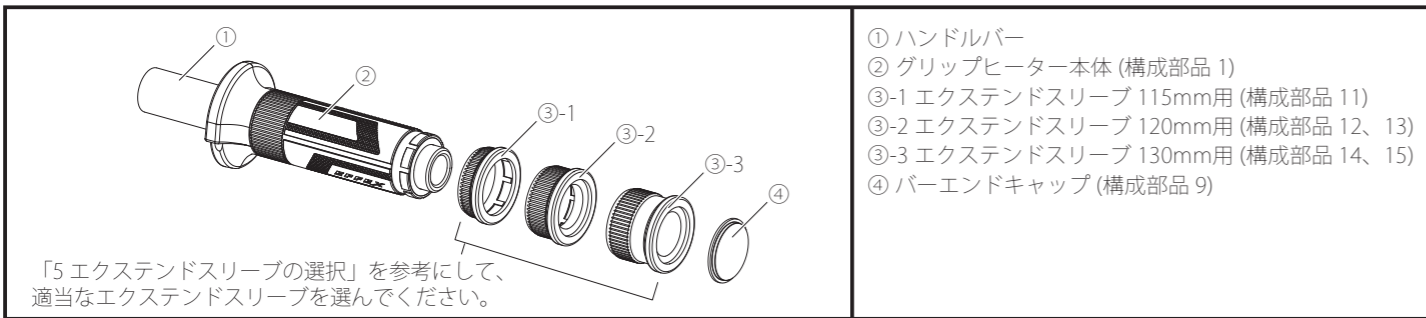


- 警告!** 接着剤の付けすぎは接着力を弱めたり、スロットルスリーブとハンドルバーの隙間に接着剤が流れ込むとスロットルが固着し大変危険です。必要以上の塗布はおやめください。

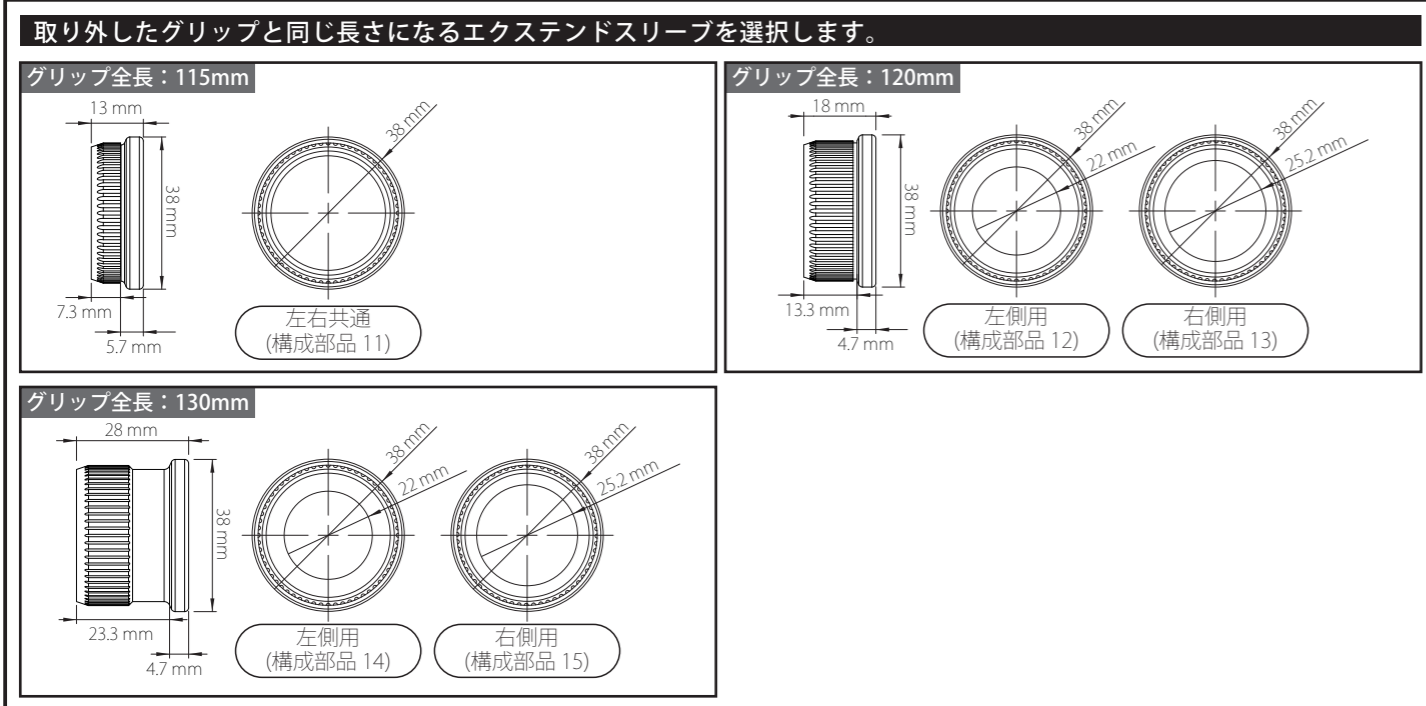
接着剤が完全に硬化するまで放置してください。(気温25℃の場合、約24時間で完全硬化します。気温等により硬化時間は異なります。)

- 注意!** 本品は完全防水ではありません。高压洗浄機等の使用は故障の原因になりますのでおやめください。

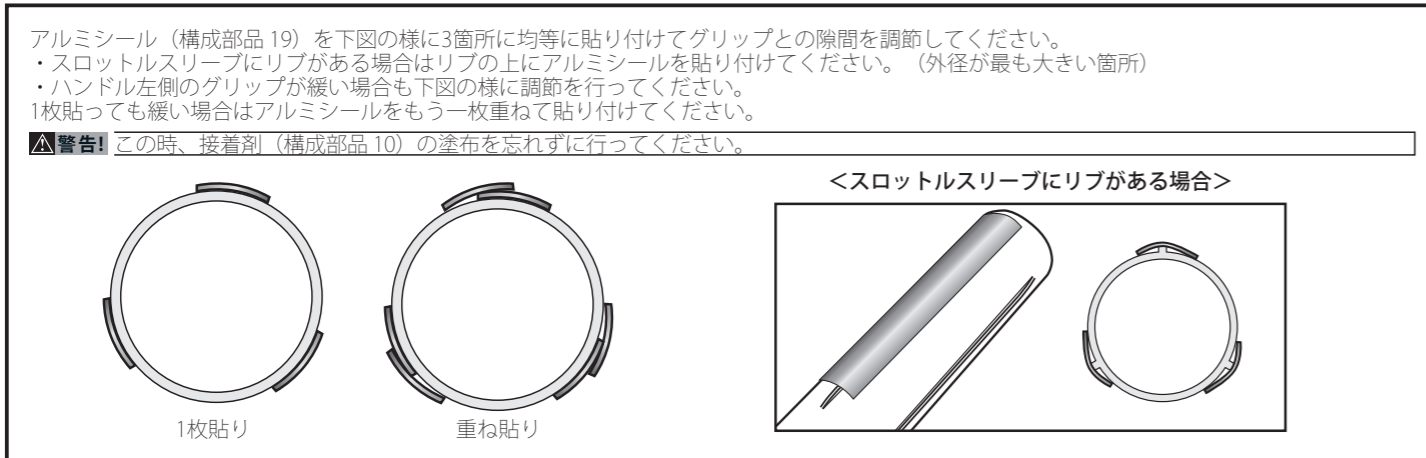
4 エクステンドスリーブの取り付けイメージ



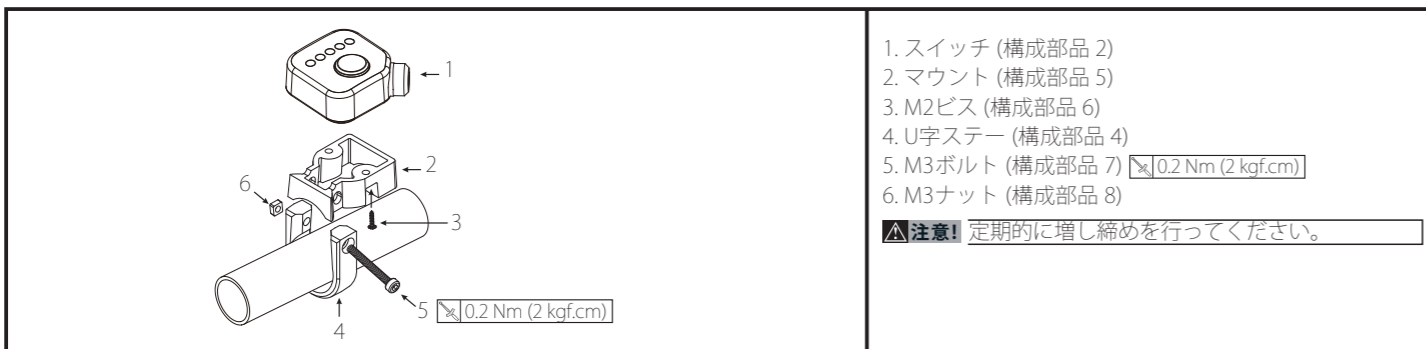
5 エクステンドスリーブの選択



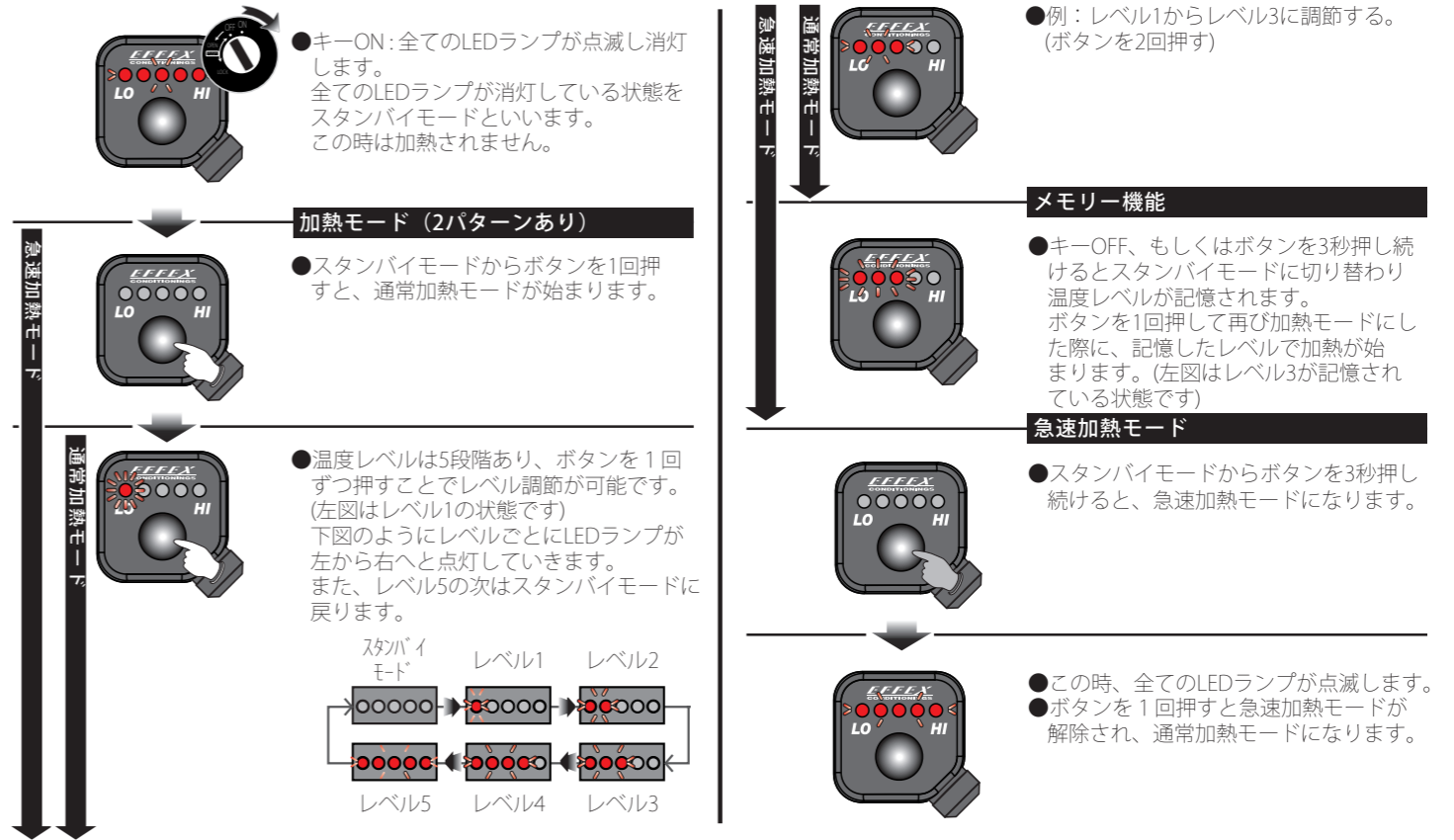
6 グリップヒーターが緩くて回ってしまう場合 ※該当しない場合は次に進んでください。



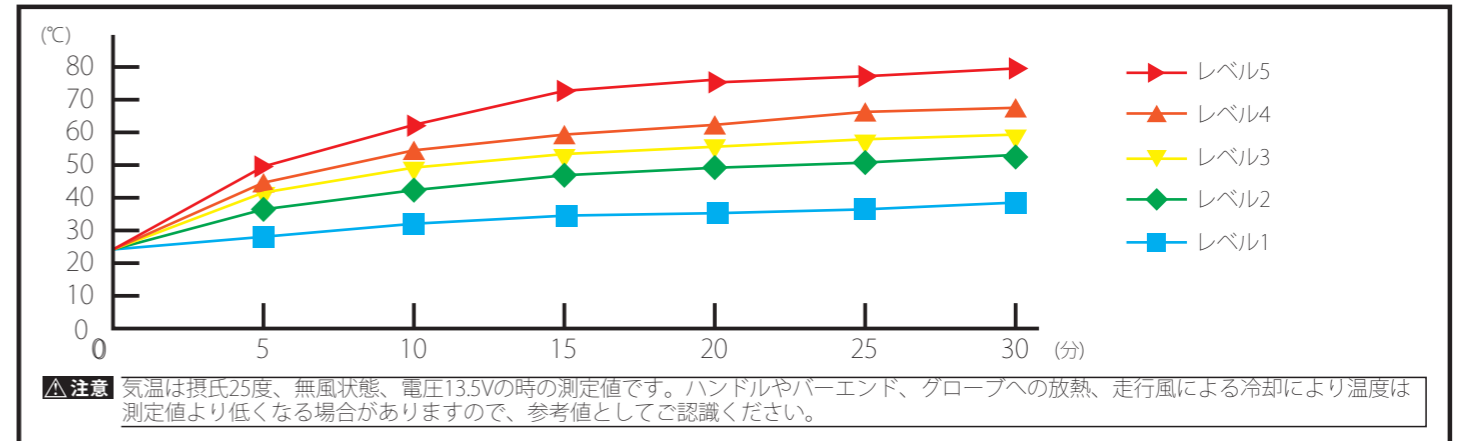
7 スイッチの取り付け方法



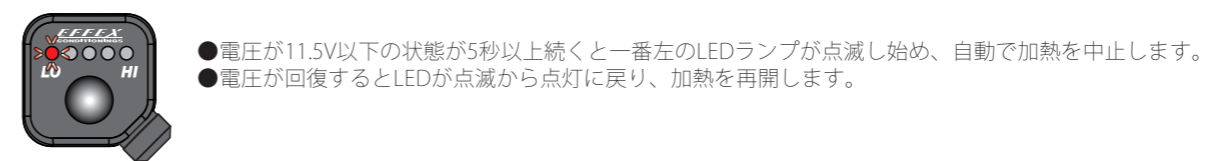
8 操作方法と温度レベル表示について



9 加熱温度とその時間



10 低電圧警告機能



11 トラブルシューティング

下記の症状が発生した場合はチェック項目を参考にして確認作業を行ってください。

症状	チェック項目	症状	チェック項目
グリップが加熱されない。	●ハーネスキットや、車体のヒューズは切れていないか? ●電源線やハーネス類が断線していないか? ●+の線が正しく接続されているか? ●ボディーアースの場合、確実にアースが落ちているか?	グリップが回ってしまう。	●付属のアルミシールを使用して、装着箇所の太さを調整してください。 ●グリップの取り付け方に誤りはないか? 「3 グリップヒーターの取り付け方法」の説明をご参照ください。
LEDが点灯しない。	●バッテリーの電圧不足ではないか? (起動には12.5Vの電圧が必要です)		

※症状が改善されない場合は、製品の不具合が考えられますので、グリップヒーターの+線をバッテリー単体 (12.5V以上) に直接接続し、正常に作動及び操作が可能か確認をお願いします。